Muse不具合一覧 - Bug #39
(V5.81)MIDIエクスポートにて直前にロードしたHEAD内容が出力されてしまう場合がある

2013/12/31 11:21 - Redmine Admin

ステータス:	終了	**開始日:**	2010/05/29
優先度:	通常	**期日:**	2010/05/29
担当者:		**進捗 %:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:		**作業時間の記録:**	0.00時間

説明

状況(2010.5.29)

V5.82にて対処済み。

(原因)
新たにデータをロードする際、HEADコマンドの文字列内容を記憶した領域の１文字目をNULL化することでクリアしているが、
MIDIエクスポートにおいては、その２文字目から有意な文字として活用しているためクリアされたことが認識できていなかった。

(対処)
MIDIエクスポートの際、１文字目でHEADコマンドの有無を検出するよう改修した。
また従来のバージョンでは、HEADコマンドが存在していなくても、シーケンス・トラック・ネームを出力していたが
今回の改修に伴い、HEADコマンドが無い場合は、そのレコードの出力そのものを行わないように改善した。

概要(2010.5.29)

HEADコマンドが存在するデータを一度ロードし、その直後に今度はHEADコマンドの無いデータをロードする。
その状態でエクスポートコマンドでMIDIファイルを出力すると、そのMIDIファイルに一回目にロードした
データのHEADコマンドの内容(文字列)が出力されてしまう。

関連するチケット:

関連している Release # 138: Muse V5.81	**終了**	**2010/05/01**